

令和4年度前学期授業見学強化週間 授業見学アンケート（集計結果）

令和4（2022）年8月24日 現在（最終）

1. あなたのお名前

2. あなたの所属

所属	○録画視聴、(※)は重複	見学件数	人数
国際学類		22	18
仲尾次洋子, 屋良健一郎, 上原なつき, 長尾直洋, 清水美里, 当銘盛之, 半嶺まどか, 木村堅一, 佐久本功達, 天願健, 島康貴, 大城真理子, 上門要, 東恩納盛雄, 卯田卓矢, 上原明, ○清水美里(※)、○麻生玲子、○草野泰宏			
スポーツ健康学科		13	11
高瀬幸一, 大峰光博, 玉城将, 山本健司, 石橋千征, 仲田好邦, 神田奈津子, 岡部麻里, 神谷義人, 濱本想子, 神崎園子			
看護学科		17	13
鈴木啓子, 大城凌子, 松下聖子, 阿部正子, 鬼頭和子, 本村純, 村上満子, 鶴巻陽子, 伊波弘幸, 新城慈, 藤居貴子, 金子有希 ○横川裕美子			
リベラルアーツ機構		4	4
高安美智子, 山城智史, タンエンハイ, 笠村淳子			
国際文化研究科（博士後期課程）		0	0
看護学研究科（博士後期課程）		0	0
非常勤講師		2	2
和泉伸一, 伊波和子			
職員		3	1
平安山史花			
合計		61	49

3. 見学された授業名をお答えください。

科目名	見学件数
文化人類学（李鎮榮）	1
英語教育実践研究（渡慶次正則、半嶺まどか）	2
経営学総論（林優子）	12
自然保護論（新垣裕治）	6
生理学・運動生理学（高瀬幸一）	3
陸上競技（小賦肇）	1
基礎看護技術Ⅱ（A）（B）（大城凌子）	4
看護研究方法（新城慈）	7
ヒューマンケアリング（本村純）	11
ベーシック・イングリッシュ（国Ⅰ）（玉城本生）	14
合計	61

4. 見学日（実施期間のうち、7月6日(水)は提供科目の開講がない曜日のため項目なし）

見学日	見学件数
2022年7月4日(月)	17
2022年7月5日(火)	1
2022年7月7日(木)	26
2022年7月8日(金)	9
録画視聴	8
合計	61

5. 授業見学では、どのような点が参考になりましたか（当てはまるもの全てチェック）

● 文化人類学（李鎮榮）

見学人数:1人

項目	見学件数
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	0
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	1
教材の選択や構造化	1
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	1
学生への意思伝達のやり方	0
対話の引き出し方	0
授業時間外での学習活動を促進する工夫	1
特に参考になる点はなかった	0
その他	0

● 英語教育実践研究（渡慶次正則、半嶺まどか）

見学人数:2人

項目	見学件数
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	1
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	0
教材の選択や構造化	0
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	0
学生への意思伝達のやり方	0
対話の引き出し方	0
授業時間外での学習活動を促進する工夫	0
特に参考になる点はなかった	0
その他	1

・学生の（英語の）模擬授業に対するフィードバックの内容

● 経営学総論（林優子）

見学人数:12人

項目	見学件数
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	5
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	4
教材の選択や構造化	8
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	5
学生への意思伝達のやり方	5
対話の引き出し方	0
授業時間外での学習活動を促進する工夫	5
特に参考になる点はなかった	0
その他	4

・資料の作成、出席の取り方、課題の出し方

・PPTスライド、最後の提出課題

・パワーポイントの講義資料が、分かりやすく参考になった。

・そこはかとなく漂うユーモア。公正取引委員会が「名前はやさしいけど、とても厳しい」と紹介された時には思わず笑ってしまいました。

● 自然保護論（新垣裕治）

見学人数:6人

項目	見学件数
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	3
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	5
教材の選択や構造化	3
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	4
学生への意思伝達のやり方	0
対話の引き出し方	1
授業時間外での学習活動を促進する工夫	0
特に参考になる点はなかった	0
その他	2

・とても興味深い授業内容でした。マンガースをよく見かけていましたが、まさか地球の裏側から来ていたとは思いませんでした。

・Universal Passport の「小テスト」を学生出席状況の自動入力として活用されていた。

● 生理学・運動生理学（高瀬幸一）

見学人数:3人

項目	見学件数
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	3
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	3
教材の選択や構造化	2
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	3
学生への意思伝達のやり方	2
対話の引き出し方	2
授業時間外での学習活動を促進する工夫	2
特に参考になる点はなかった	0
その他	0

● 陸上競技（小賦肇） 見学人数:1人

項目	見学件数
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	1
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	1
教材の選択や構造化	1
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	1
学生への意思伝達のやり方	1
対話の引き出し方	0
授業時間外での学習活動を促進する工夫	0
特に参考になる点はなかった	0
その他	0

● 基礎看護技術Ⅱ（A）（B）（大城凌子） 見学人数:4人

項目	見学件数
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	2
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	3
教材の選択や構造化	1
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	4
学生への意思伝達のやり方	3
対話の引き出し方	1
授業時間外での学習活動を促進する工夫	1
特に参考になる点はなかった	0
その他	1

・ピアエデュケーションによる技術獲得

● 看護研究方法（新城慈） 見学人数:7人

項目	見学件数
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	2
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	5
教材の選択や構造化	5
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	4
学生への意思伝達のやり方	3
対話の引き出し方	3
授業時間外での学習活動を促進する工夫	2
特に参考になる点はなかった	0
その他	1

・学科学生に対する倫理教育の内容で、個人的にもその点は参考になりました。

● ヒューマンケアリング（本村純） 見学人数:11人

項目	見学件数
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	5
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	7
教材の選択や構造化	7
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	9
学生への意思伝達のやり方	2
対話の引き出し方	0
授業時間外での学習活動を促進する工夫	1
特に参考になる点はなかった	0
その他	0

● ベーシック・イングリッシュ（国Ⅰ）（玉城本生） 見学人数:14人

項目	見学件数
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	9
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	4
教材の選択や構造化	4
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	8
学生への意思伝達のやり方	8
対話の引き出し方	8
授業時間外での学習活動を促進する工夫	5
特に参考になる点はなかった	0
その他	1

- ・ online practice に興味を持った

6. 授業見学の成果をもとに、今後のあなたの授業で取り入れたい工夫があれば、記入してください。

● 文化人類学（李鎮榮）

▷授業内容と身近な問題・現代社会の問題を積極的に結びつけていく展開と、自らの体験を交えた話によって、学問のための学問ではなく、生きるための学問であると感じさせる授業となっていた。こういった身近な問題から思考を広げる方法を参考にしたい。また、学生が自主的に学べるように、と様々な教材を積極的にTeamsにアップしている点は、学生の学びを促すためにとても良い方法だと思った。

● 英語教育実践研究（渡慶次正則、半嶺まどか）

▷教育実習の経験がある先輩学生からのコメントが実践的だった。ピアラーニングとして経験や理解度の異なる受講者同士で学ぶ方法が参考になった。

▷後期に日本語教育実践演習があるので、模擬授業への時間配分やフィードバック等を工夫したい。

● 経営学総論（林優子）

▷スライドの見やすさと説明の分かりやすさ

▷事例の取り入れ方、スライドのデザイン、わかりやすい言葉づかい、説明のメリハリなど

▷教材の選択や構造化

▷出席の取り方や、資料の作成方法、課題や課題の出し方について参考にしたいと思いました。

▷イメージのしやすさから、つい写真や動画など使いがちになりますが、それを使わずに、先生が解説される内容に、学生が注意を向け、考えながら授業に参加するようになっていて、そこが新鮮でした。しかも、わかりやすく、林先生の授業評価(学生による)が高いのが、納得がいく授業でした。

▷見やすいスライドや、聞きやすい声、最後の提出課題など、参考にさせていただきます。

▷聴くだけでなく、やはり目で確認できるようにするためには、パワーポイントなどの講義資料も分かりやすく、見やすくする工夫が必要だと改めて感じた。

▷オンライン参加者に最後にチャットで出席発言を求めるのは取り入れたいです。

▷数分しか参加できませんでしたので記述を控えさせていただきます

▷課題の出し方は参考になりました。スライドの文字の色分けなども勉強になりました。

▷授業の内容の中で普段の生活や話題と繋がる部分があると頭に入りやすい。

▷1960年代の4大公害からSDGsまで、そして普段のコンビニでのプラスチックごみまでの話などを説明した後に、コロナ禍のシングルユース（使い捨て）まで事例を挙げていた。一方向の流れだけではなく、学生の興味関心を引くような講義を取り入れていきたい。

● 自然保護論（新垣裕治）

▷適宜、確認クイズを挟み、学生の理解を促している手法は良いアイデアと思いました。参考にさせていただきます。

▷途中で穴埋めが出てきて、それまでの授業内容を振り返ることができ、また集中して聞くことができると思いました。新聞の切り抜きや、ゼミでの研究成果なども含まれていて、変化があり関心を引き付ける工夫がされていると思えました。できるだけ、自分の授業にも取り入れていきたいと思えました。ありがとうございました。

▷学生にQを出すタイミング 3回ぐらいに分けていたでしょうか。

▷講義を録画して1週間復習できるようにしている点。

▷新垣先生は Universal Passport の「小テスト」を学生出席状況の自動入力として活用されていた。オンラインで受講する学生名簿として習いたいと思います。また、先生は授業中に10問題を3回（授業20分後、中盤の50分後、終盤の70分頃）に分けて出題されていた。この回答に学生は授業に集中せざるを得ず、素晴らしい授業方法だと感心しました。私の授業の参考にさせていただきます。

▷他の先生の講義を見る機会が無いため、講義の進め方に関して参考になりました。新垣先生は講義の途中（3回ぐらい）でクイズ形式の課題を設けており、話した分の要点は何だったのかを学生自身考えさせる機会があったので、学習内容を整理することができました。このような内容を取り入れたいと思えました。

● 生理学・運動生理学（高瀬幸一）

▷冒頭に提示されたキーワードに対して、理解を促す効果的な教材や教授方略を用いて明瞭に解説がなされており、大変理解がしやすかったです。私自身、1コマで内容を盛り込みすぎる点が反省点として挙げられるため、テーマを焦点化して深い理解を促す授業構成をする上で、大変参考になりました。また、授業内で、thinking timeとして大切な内容を復習する時間がとられていました。学生の理解を深める効果的な手立てとして、自身の授業にも取り入れたいと思えました。

▷授業途中でのシンキングタイム（学んだことを振り返り理解を深める・覚える）

▷学習内容に関する課題（シンキングタイムで押さえた内容をさらに家庭学習しまとめ提出）

▷Thinking Time：講義中に重要なポイントについて復習する時間（Thinking Time）を設けておられたことは、学生の知識の整理、集中力の回復にもなると思うので取り入れたいです。

▷学生への質問をQRコードを用いて回答してもらう方法：講義中、講師から学生への質問は一部の学生の回答のみとなってしまいますが、全学生が参画できるのでこちらも是非取り入れたいです。

▷セルフテスト：講義毎に小テスト（？）を実施されていらっしゃるようでした。専門的で難易度の高い内容の講義には都度復習できる機会を提供することの必要性を学ばせていただきました。

● 陸上競技（小賦肇）

▷ハードルのスキルに関してポイントを明瞭に示し、師範もとても分かりやすく示されておりました。実技の授業において、ホワイトボードに授業の流れとポイントを示しておくという教授技術を自身の授業にも取り入れたいと思えました。

● 基礎看護技術Ⅱ (A) (B) (大城凌子)

▷授業初めにミニテストを行い、重要な知識の復習をする。その際ICTを利用し、結果を把握して授業内容に反映させると学生も授業に集中しやすいと思いました。

▷動画も効果的に活用されていました。事前学習後に見る事によって復習になり、エキスパートグループも落ち着いて発表に臨めると思いました。

▷学生が作成した資料を活用する事で、学生は自分の努力が認められ、自己効力感が高まると思いました。その経験は授業へ積極的な参加姿勢を醸成すると思えます。

授業見学をさせていただき、ありがとうございました。

▷最初、経験したことを学生同士で教え合うのではなく、体験したことがない技術を学生同士でどう教え合うことができるのだろうと思いました。しかし、実際に見てみると学生はしっかり事前に学んで、教える(サポートする)ことが出来ており、この協同学習に意味があることが理解できました。

▷基礎看護学領域と成人看護学領域で、どちらでどこまで教えるのかということが分かりませんが、基礎看護技術Ⅱとしてただ技術を教えるのではなく看護技術を提供する際の軸となるもの・伝えたいメッセージを、技術のポイントと共に学生に伝えていて、その教授法に大変学ばせていただくことが大きかったです。ありがとうございました。

▷実際に講義を見学して、学生が持つ能力の高さを実感しました。後期の看護学Ⅱ(演習)において、同形式の学生主体で実施・進行する方法をぜひ取り入れたいと思いました。

▷技術学習の知識の学習で、ポイントとなる箇所の取り上げ方が明確でわかりやすい。

● 看護研究方法 (新城慈)

▷看護学科の教員の研究を学生に発表することは、学生にとってとても興味深いものだと思う。また、YouTubeの動画を使用するなど学生の興味、感心が持てるよう工夫されていた。信頼できる動画を使用するのは効果的だと思われるのでぜひ参考にしたい。

▷今回の授業においては、新たに取り入れたいものはありませんでしたが、他学科の授業が見学できるととても有意義な授業見学となりました。

▷新城先生のアクティブラーニングのペーシングがしっかりとれていたため、学生が参画出来ていたと思います。学生が興味関心が高まる問いや、有効な動画の活用もされていました。

▷学生たちに学んだことをアウトプットする機会を設けている点を取り入れたいです。いつも教員が「伝える」ことばかり専心してしまうので…

▷動画の選択も適切で、良く準備がされていると思えました。

▷デジタル(振り返り)リフレクションシートの活用

▷動画や実際の研究計画等を用いた具体的な指導方法はより印象に残ると感じました。この点は今後意識しながら授業を作りたいと思いました。

▷2つに教室を分けた時も積極的に声掛けを行いたい

● ヒューマンケアリング (本村純)

▷スライドの適切な部分が空欄になっており、授業に常に集中できる工夫がされていた

▷予習用の資料を事前に配布し、学びを深めようとしているところ。また、講義内容で沖縄の地域について具体的に触れており、健康支援人材を地域に輩出したい意志を受け取れたところ。

▷エビデンスの高い資料、最新の知見が豊富に紹介され、納得感が高い授業だった。

▷ヘルスリテラシーの高い人≠健康意識が高い人、の説明に納得！自分に置き換えて考える機会が多く、正しい知識を得ることの重要性が伝わり、ヘルスリテラシーという意味が腑に落ちる講義だった。

▷授業のまとめとして、小テストを取り入れていた点

▷授業の構成、内容(文献の提示方法等)も充実しており、スライドもわかりやすく工夫されていて、大変参考になる授業でした。ありがとうございました。

▷学生自身が身近に感じる具体例を示すことや根拠となる論文をわかりやすく解説することは積極的に取り入れていきたいです。

▷講義のテーマに関する先行研究をいくつか教材に使用しながら講義を作る方法がよかったので、さっそく自分の講義でも一部やってみました。学生評価が楽しみです。

▷特になし

▷ありがとうございました。

▷資料の作りこみ方

▷ひとつのトピックに対して具体的な例があること。学生への語り掛け方。

● ベーシック・イングリッシュ（国Ⅰ）（玉城本生）

▷今回の参観のみではよく分からなかったが、online practice が私の担当する科目での利用が可能かどうか調べてみたい

▷オンラインでのアクティビティー

▷講義時間外でのOnline Practice

▷学生が発言しやすくなるように問いかけ、学生の答えに対してポジティブに反応し、やる気を引き出す工夫がされていました。また、授業の途中でグループワークを取り入れることで、学生同士のコミュニケーションを促す工夫もされていました。いずれも、私の授業でも取り入れたいと考えています。

▷対話の引き出し方について、大いに参考になった。

▷授業お疲れ様でした。

久しぶりに英語の授業に参加し、個人的に楽しんで受講できました。

以下の点は、私の授業でも取り入れたいと思いました。

○一人ひとりの学生の名前を点呼し、体調を確認しているところ

○宿題の解答をすぐに教えるのではなく、一人ひとりに確認したのち、解説するところ

以下、私の感想や疑問点です。今後の授業改善の参考にしてください。

Q 日本語で教えているところが気になりました。やはり、10番目中9番目のクラスでは、英語100%ではなく、日本語を入れた方がよいのでしょうか。

Q 運用能力の向上を目標とされていると授業紹介がありましたが、高校までの英語の授業によく類似しているように思いました。特に異なる点があれば教えて欲しいです。

Q 英語が得意な学生が、この授業でさらに英語力を高める工夫をされていれば教えてください。

Q 授業についていけない学生への指導で工夫しているところがあれば、教えてください。

Q 他のベーシックイングリッシュの授業も同じなのか、気になりました。

Q 先生一人で運用能力の向上は難しそうですが、SAの活用、LLCの活用についてはどうでしょうか。

Q 授業で活用している教材は、授業本番前の予習（自学自習）がどの程度できるものでしょうか。特に実際の会話の部分が気になりました。

▷出席を取りながらの学生とのコミュニケーション。ペアワーク。

▷明るく元気に説明すること。

▷グループワークの方法が参考になりました。

▷出欠をとる際に、一人一人に「How are you today?」など、声掛けをし、会話を心掛けていた。講義内ですべての学生が発言する機会を持てるように工夫していた点は、参考になった。

▷授業の最初の導入の挨拶（英語で一人ひとりと会話をする）ということを取り入れてみようと思いました。Informationa Gapの活動も、とても参考になりました。ありがとうございました。

▷PPT資料の作りこみ方

▷少人数クラスでは学生一人ひとりに声をかけながら、理解の状況を確認する

▷学生への発言の促し方や発言した後の学生への反応の仕方

7. 今回の授業見学の成果について評価してください

項目	見学件数
満足	47
やや満足	9
どちらともいえない	5
やや不満	0
不満	0
	61

8. 最後に、授業見学強化週間に対する感想・意見・要望等がありましたら、記入してください。

▷取り入れたい方法がたくさんありました。こうした機会は教員の教育力向上には必須だと再認識しました。

▷授業改善のためには、関係教員間でお互いのシラバスの内容点検・課題チェック・改善をした方が良いと思います。

▷他の先生方の講義方法を学ぶ事で、自身の講義方法を見直す事が出来るので大変有難いです。今後もこのような機会をご提供頂ければ幸いです。

▷別の仕事があり、始業に間に合わなかったため、オンラインで参加できてよかったです。

▷強化週間であれば、最低 1 講義は見学するという方向性で良いかと思えます。

▷所属学科以外の授業を見学する機会はとても貴重でした。そして、とてもいい勉強になりました。今後、学生評価の高い講義等の見学会があれば参加したいです。

▷授業終了後の時間での録画はオンデマンドとして容易に視聴でき、学生の復習（一週間に限定）にととても良いと思いました。しかし、20 分頃からノイズが入り、聴講することは苦痛であった。このノイズは授業中の教員は気がつかない。教務課またはセンターの職員に原因究明と改善をお願いいたします。

▷今回のような参加形式(オンラインも可能)が選択できるのは、ありがたかったです。もし可能だったら、もう少し期間が長いと、会議や授業に当たらずに参加できる科目が増えるのかなと思いました。FD委員会の先生方のご尽力に感謝致します。

▷感謝致します！

▷非常に授業見学に参画しやすく、自身の教授方法の改善に大いに役に立つと考えます。企画をして頂いた、FD委員会と所轄の教務課へ感謝いたします。

▷ガールのスケジュールで、授業見学を設定することは効果的だと思いました。

▷金曜日、水曜日の授業見学案内メールのPRも忙しい教員には助かります。

▷小賦先生の授業が天候によって実施場所が異なる点も細かく通知があり助かります。

▷他の皆さんの感想も閲覧できると良いと思いました。

▷大変勉強になりました。ただ、リストアップされた先生以外の授業には少し行きづらくなる印象があります。

▷今回、授業提供者を選定しその内容を事前にお知らせ頂いたため大変助かりました。ICT機器を活用（パワーポイントでの説明、動画の視聴、スマホを利用した質問への回答）など大変分かりやすく興味を引き付ける授業でした。

▷見学を希望していた講義が自身の講義と重なっていたため、見学できずとても残念でした。

また、授業見学週間の期間が1週間でしたので、都合がつかないこともあるので期間の設定についてご検討いただけますと幸いです。

今後も他学科の先生方のご講義を見学し、勉強させていただきたいです。

貴重な機会を賜り、誠にありがとうございました。

▷オンラインは参加しやすいです。

▷コロナの影響でteamsが利用できるようになりこれまで以上に授業見学に参加しやすくなった。

▷学科に見学者を依頼するよりも、大学として優れている（であろう）授業をあえて個人指名してはどうでしょうか・・・本学科は学科の教員から公平性の担保という意見があり、今後輪番制になりました。←個人的には納得してはいませんが。

▷いろんな授業を見ることで、自分の授業を振り返る良い機会になります。今後も続けてほしいFD企画です。

▷授業見学強化週間を1週間から2週間に延長してもらえるとありがたい。

▷今回の授業見学では2つの授業に参加させていただきました。大学での勤務経験が浅いため、この取り組みはとてありがたく感じました。次回もぜひ参加させていただきたいです。

▷当該教員の統計学の授業を見学したいと感じました。

▷後学期の授業見学も楽しみにしています。

▷実施期間が短く限定的なため、2週間程度設定して頂ければと思います。

▷授業見学をさせていただき誠にありがとうございました。

大変勉強になりました。この学びを活かしていきます。

要望は、今後も他領域や他学科の先生方のご講義を見学させていただきたいです。

ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

▷学生徒お喋りしながら講義を進めている感じがとてもよかった講義でした。学ぶところがたくさんありました！学生はどうしても先行研究が弱いので、普段の講義の中でこそ論文紹介や検索のやり方などをさりげなく入れてみたいと思いました。ちょっと自分が担当する講義でも実践してみたので学生アンケートが楽しみです。また、改善の提案として、タイトルがセルフメディケーションとケアリングとありますが、後半はヘルスリテラシーやヒューマンケアリングとあって、テーマのキーワードがシフトしていく感じ（同じかもしれませんが受け手には印象に揺れがあるかも）がありました。テーマなんだっけ？となる可能性もありそうでしたので、最後はテーマに立ち返って、学んだ領域の関係性を一枚入れるといいかもしれません。また、細かいですが、資料のアニメーションは分かりやすいですが、印刷物として配慮されておらず、資料を見返しても習った箇所が被っていて見えない。といったこともあるかもしれません。以上です。ありがとうございました！

▷なかなか他の教員の授業を見ることはなく勉強になるため、事前申請制ではなく授業見学強化週間であれば自由にどの授業でも見学できるようにしてはどうか。

▷目的が自身の授業の改善であるなら、ただ漫然と見学するのでは意味がないように思う。例えば、名桜でも他大学でも、学生から授業に対してひときわ高評価を得られている先生の授業で、どこがどう良いのかという点を専門家の方が解説しながらみる事ができれば、良いところをより取り込めるのではないかと思う。

▷事後の動画の共有ありがとうございました
